

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかば菰野		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日	～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日	～	令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の充実	日々の活動は季節を感じられるものを沢山組み込めるよう心掛けており、活動スペースも季節に合わせて飾り付けてしている。休日はお出かけや、クッキングなどを実施し、子どもたちのやりたい事を取り入れながら活動計画を行っています。	年齢層も様々で全員が楽しい活動を計画することが難しい場合もあるが、できる限りみんなが楽しめる活動やイベントを実施できるようこれからも努力していきたい。
2	個々の発達に合わせた支援	日々の活動の中でアセスメントをとり、個々の発達を見極めその時に必要な支援を実施しています。わかば菰野には 専門性のあるスタッフが多く在籍しており、多角的な観点で支援を行っているため職員同士での意見交換も活発にできており、支援の質の向上につながっています。	他の福祉サービスや学校とより連携を深め、子ども達がどのサービスを利用していても統一した支援を受け、安心できる環境で過ごせるよう努めます。
3	環境の構造化	子ども達が過ごしやすいよう事業所内の環境を整える事を意識しています。誰が見ても分かりやすいように、一日のスケジュールや物の配置等様々な情報を視覚化しています。活動スペースも、子ども達の遊びや活動に合わせて棲み分けをしており、安心して過ごせるよう配慮しています。	歩行の介助が必要な利用者様がおり、子どもの成長に合わせて手すりの取り付けや、補助具などより環境を整えていく必要があると考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化	歩行が困難な利用者様が今後車いすでの移動となった際に、事業所のバリアフリー化が間に合っていないことと、事業所内を車いすで移動することが現状では難しい環境設定になっていること。	必要に応じて柔軟に対応していきたい。
2	災害時の対策、訓練について	昨年度の反省を活かし、災害対策や訓練についてSNSで発信したり、おたよりを配るなど工夫をしていたが、今回も伝わっていないご家庭があった。	これからも取り組みに関して発信するだけでなく、受け取っていただけよう工夫していきます。
3			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかば菰野		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の充実	日々の活動は季節を感じられるものを沢山入れるよう心掛けており、活動スペースも季節に合わせて飾り付けてしている。休日はお出かけや、クッキングなどを実施し、子どもたちのやりたい事を取り入れながら活動計画を行っています。	年齢層が様々で全員が楽しい活動を計画することが難しい場合もあるが、できる限りみんなが楽しめる活動、イベントを実施できるようこれからも努力していきたい。
2	個々の発達に合わせた支援	日々の活動の中でアセスメントをとり、個々の発達を見極めその時に必要な支援を実施しています。わかば菰野には 専門性のあるスタッフが多く在籍しており、多角的な観点で支援を行っているため職員同士での意見交換も活発にできており、支援の質の向上につながっています。	他の福祉サービスや学校とより連携を深め、子ども達がどのサービスを利用しても統一した支援を受け、安心できる環境で過ごせるよう努めます。
3	環境の構造化	子ども達が過ごしやすいよう事業所内の環境を整えることを意識しています。誰が見ても分かりやすいように、一日のスケジュールや物の配置等様々な情報を視覚化しています。活動スペースも、子ども達の遊びや活動に合わせて棲み分けをしており、安心して過ごせるよう配慮しています。	歩行の介助が必要な利用者様があり、子どもの成長に合わせて手すりの取り付けや、補助具などより環境を整えていく必要があると考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化	歩行が困難な利用者様が今後車いすでの移動となった際に、事業所のバリアフリー化が間に合っていないことと、事業所内の車いすでの移動が現状では難しい環境設定になっていること。	必要に応じて柔軟に対応していきたい。
2	災害時の対策、訓練について	昨年度の反省を活かし、災害対策や訓練についてSNSで発信したり、おたよりを配るなど工夫をしていたが、今回も伝わっていないご家庭があった。	これからも取り組みに関して発信するだけでなく、受け取っていただけるよう工夫していきます。
3			